



国九整企画第7号
令和2年4月21日

福岡市長 高島 宗一郎 殿

国土交通省 九州地方整備局長

村山 一弥



直轄事業の事業計画(福岡市関連分)について(通知)

平素から国土交通省直轄事業の推進に当たり、御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当局における令和2年度当初予算に関する地方負担を求める事業計画のうち、福岡市関連分について、別紙のとおりお知らせいたします。

令和2年度当初 福岡市における事業計画(道路関係〔直轄〕)

改築事業(幹線道路ネットワーク整備)

箇所名等		事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)						地 方 負担額	R2年度事業内容	備考	
				内 訳									計
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯工事費	事 業 車両費				
国道3号	博多バイパス	L=7.7km	481	0	4,930	0	70	0	0	5,000	1,666	調査推進: 調査設計	福岡市東区下原～松島交差点 L=5.2km(6/6) 平成30年3月17日開通済
合 計				0	4,930	0	70	0	0	5,000	1,666		残事業費:約1億円

(注)地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。

(注)備考欄の用地進捗率は、令和2年3月31日時点である。

(注)備考欄の事業進捗率は、令和2年3月31日時点である。

(注)備考欄の開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある。

(注)都道府県及び政令市をまたぎ実施する事業の事業規模、全体事業費、用地進捗率、事業進捗率については、他の都道府県政令市の区間を含む。

(注)備考欄に開通予定の記載がない区間については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で開通時期を確定する予定である。

令和2年度当初 福岡市における事業計画(道路関係〔直轄〕)

改築事業(防災対策等)

箇所名等		事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)							地 方 負担額	R2年度事業内容	備考
				内 訳						計			
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯工事費	事 業 車両費				
国道202号	春吉橋架替	L=0.2km	45	393,000	11,940	9,000	6,060	0	0	420,000	140,000	・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 春吉橋下部工・上部工	用地進捗率: 100% 事業進捗率: 約66%
国道202号	周船寺橋架替	L=0.1km	10	59,000	5,590	32,000	1,410	0	0	98,000	32,666	・調査推進: 調査設計 ・用地補償: 支障物件移設補償 ・工事推進: 周船寺橋下部工・上部工	用地進捗率: 100% 事業進捗率: 約80%
合 計				452,000	17,530	41,000	7,470	0	0	518,000	172,666		

(注) 地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。

(注) 備考欄の用地進捗率は、令和2年3月31日時点である。

(注) 備考欄の事業進捗率は、令和2年3月31日時点である。

(注) 備考欄の開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある。

(注) 都道府県及び政令市をまたぎ実施する事業の事業規模、全体事業費、用地進捗率、事業進捗率については、他の都道府県政令市の区間を含む。

(注) 備考欄に開通予定の記載がない区間については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で開通時期を確定する予定である。

令和2年度当初 福岡市における事業計画(道路関係〔直轄〕)

交通安全事業(Ⅰ種)

箇所名等		事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)						地 方 負担額	R2年度事業内容	備考	
				内 訳									計
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附带工事費	事 業 車両費				
国道3号	福岡3号交通安全対策	—	—	0	16,600	300,000	4,400	0	0	321,000	107,000	・調査設計 ・用地買収	
	{ 千早・箱崎自転車 通行空間整備	—	—	0	16,600	300,000	4,400	0	0	321,000			
国道202号	福岡202号交通安全対策	—	—	0	10,181	381,000	4,819	0	0	396,000	132,000	・調査設計 ・用地買収	
	{ 中村大学前交差点改 良	—	—	0	4,281	381,000	4,719	0	0	390,000			
	{ 周船寺地区歩道整備	—	—	0	5,900	0	100	0	0	6,000			・調査設計
合 計			—	0	26,781	681,000	9,219	0	0	717,000	239,000		

(注)地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。

(注)備考欄の開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある。

(注)備考欄に開通予定の記載がない事業については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で開通時期を確定する予定である。

令和2年度当初 福岡市における事業計画(道路関係[直轄])

交通安全事業(Ⅱ種)

箇所名等		事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)							地 方 負担額	R2年度事業内容	備考
				内 訳						計			
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯工事費	事 業 車両費				
国道3号 国道201号 国道202号	-	-	-	104,325	15,480	0	1,195	0	0	121,000	60,500	・防護柵、道路標識、区画線、視線誘導標 ・CCTV	
合 計			-	104,325	15,480	0	1,195	0	0	121,000	60,500		

(注)地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。

令和2年度当初 福岡市における事業計画(道路関係〔直轄〕)

電線共同溝事業

路線名	箇所名等	事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)						地方 負担額	R2年度事業内容	備考	
				内 訳									計
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附带工事費	事 業 車両費				
国道3号	福岡3号電線共同溝			256,000	126,000	50,000	5,000	0	0	437,000	218,500	・調査設計 ・支障物移設 ・本体工事(引込連系管路工事 等含む) ・調査設計 ・支障物移設 ・本体工事(引込連系管路工事 等含む)	
	千早・名島地区電線共同溝	L=4.6km	60	50,000	31,000	10,000	1,000	0	0	92,000			
	吉塚・榎田地区電線共同溝	L=2.6km	37	206,000	95,000	40,000	4,000	0	0	345,000			
国道202号	福岡202号電線共同溝			190,000	9,000	20,000	4,000	0	0	223,000	111,500	・調査設計 ・支障物移設 ・本体工事(引込連系管路工事 等含む)	
	今宿・周船寺地区電線共同溝	L=4.8km	64	190,000	9,000	20,000	4,000	0	0	223,000			
計				446,000	135,000	70,000	9,000	0	0	660,000	330,000		

(注)地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。

(注)備考欄の完成予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある。

(注)備考欄に完成予定の記載がない事業については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で完成時期を確定する予定である。

令和2年度当初 博多港（港湾管理者：福岡市）における事業内容等 （港湾関係）

（様式1）

港湾整備事業

（単位：千円）

港名	施設名	事業規模	全体事業費 （億円）	負担基本額						計	地方 負担額	事業内容	備考
				内訳									
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附 帯 工事費	事 業 車両費				
博多港	～アイランドシティ地区 国際海上コンテナターミナル整備事業～												
	アイランドシティ地区		907										
	岸壁（-15m）（耐震）	L=500m		<2,140,800>						<2,140,800>	<713,600>	係留施設工 1式	令和4年度目途完成予定 ※完成に向けた円滑な事業 実施環境（注2）が整った 段階で確定予定
	臨港道路	L=2,500m		<360,000>						<360,000>	<120,000>	橋梁上部工 1式	
			3,072,606	49,332	0	10,062	0	0	3,132,000	1,044,000			
				<2,160,000>					<2,160,000>	<720,000>			
				4,076,833	177,058	1,000	21,609	0	0	4,276,500	1,425,500		
	～予防保全事業～												
	中央航路地区		100										
	航路（-12m）（改良）	A=140,000m2		412,973	75,096	10,000	1,709	0	222	500,000	225,000	グラブ浚渫 50,000m3	令和6年度目途完成予定 ※完成に向けた円滑な事業 実施環境（注2）が整った 段階で確定予定
	中央ふ頭地区												
	航路・泊地（-12m）（改良）	A=409,000m2		809,084	38,315	0	2,223	0	378	850,000	382,500	グラブ浚渫 103,000m3	
	計			<2,160,000>					<2,160,000>	<720,000>			
				<2,500,800>					<2,500,800>	<833,600>			
				8,371,496	339,801	11,000	35,603	0	600	8,758,500	3,077,000		

<< >>書きは平成30年度国債の令和2年度支出分で内数

< >書きは令和元年度国債の令和2年度支出分で内数

（注1） 端数処理の関係で施設毎の合計と合わない場合があります。

（注2） 「事業実施環境」とは、漁業補償の締結、公有水面埋立免許の取得、用地取得の完了、土砂処分場の確保後等といった、事業を進捗させる上で不可欠な環境のことです。